

事例： レポートの書き方についての本を探す。
先生から「図書館に行けばレポートの書き方の本がいろいろあるはずだから、少し読んでおくように」と言われた。

1. 図書館ウェブサイトトップページ中央検索ボックスにキーワードを入れ、「蔵書検索」ボタンをクリックした。キーワードは「レポートの書き方」としてみた。

○ OPAC(蔵書検索)

レポートの書き方 蔵書検索

※この場合は「レポートの書き方」というフレーズがタイトル・著者名・件名（テーマ）のいずれかに含まれる資料が検索されます。

2. 検索結果一覧画面が表示された。図書が 18 件。あれ？ ちょっと少ない…。

キーワードを変えてみようと思い、「レポート」ともう一度入力したところ、キーワードの候補が表示された。「レポート 論文」で検索してみることにする。

3. 今度は図書が 107 件、雑誌巻号が 2 件ヒットした！

検索結果のスクリーンショット。検索条件は「レポート 論文」。並び順は「出版年(新しいものから)」。

絞込検索

並び順

資料種別

- 図書 (107)
- 雑誌 (0)
- 雑誌巻号 (2)
- 視聴覚 (0)

著者

- 日本青少年研究所 (14)
- 毛利, 和弘(1945-) (6)
- Mōri, Kazuhiro (4)
- 古郡, 延治 (3)
- 小笠原, 喜康(1950-) (3)

件名・キーワード

- 論文作法 (79)

検索結果:

1. **学生による学生のためのダメレポート脱出法**
アカデミック・スキルズ
著者: 慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員著
出版者: 慶應義塾大学出版会 2014/10
ISBN: 9784766421774
2. **思考を鍛えるレポート・論文作成法, 第2版**
著者: 井下千以子著
出版者: 慶應義塾大学出版会 2014/3
ISBN: 9784766421071
3. **資料検索入門: レポート・論文を書くために**
アカデミック・スキルズ
著者: 市古みどり編著/上岡真紀子, 保坂睦著
出版者: 慶應義塾大学出版会 2014/1
ISBN: 9784766420517

4. たくさんヒットしたのは良いけれど、件数が多すぎるので画面左側の「絞込検索」機能を使ってみることにする。

「件名・キーワード」に「論文作法」が入っているものは 79 件のようなので、早速クリックして絞り込みを実行。

自分では思いつかないようなキーワードを表示してくれるので、とても参考になる！

絞り込み後のスクリーンショット。絞り込み条件は「論文作法 (79)」。

絞込検索

並び順

資料種別

- 図書 (79)
- 雑誌 (0)
- 雑誌巻号 (0)

件名・キーワード

- 論文作法 (79)

さらに、検索結果の並び順も自由に選択できる。とっても便利！

※何も選択しないと、「出版年（新しいものから）」順に表示されます

5. 気になった本のタイトルをクリックすると、以下のような画面になった。
この本は大学B2Fにあるらしい。所在をクリックしたらフロアマップが表示された。

さらに、「Bookweb で詳細を見る」をクリックすると、紀伊國屋書店のサイトにジャンプした(次頁)。「内容説明」や「目次」が書いてあるおかげで、本を手にする前に本の中身がイメージできるのは、とても効率的。

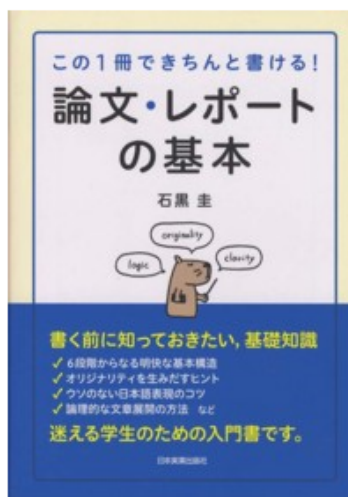
貸出状況が空欄になっているのは、本が貸出中ではなく書架にあるということです。

請求記号「816.5||73」をメモして、実際に書架に行ってみた。
探していた本以外にも、似たようなテーマの本が近くに並べられていたので、併せて借りてみることにした。

論文・レポートの基本 : この1冊できちんと書ける!

ロンブンレポートノキホン:コノイッサツ デキチントカケル
石黒圭著
東京:日本実業出版社, 2012.3

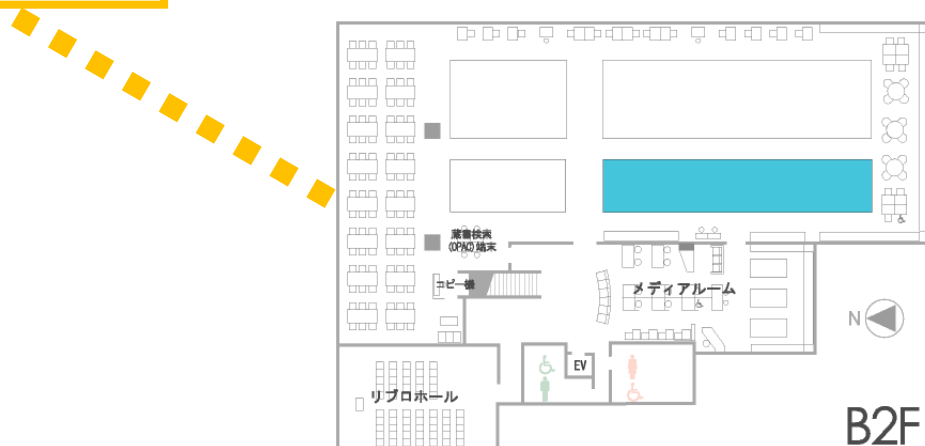
[Bookweb で詳細を見る](#)



ブックマーク

●所蔵:

巻号	所在	別置記号	請求記号	資料ID	貸出区分	貸出状況	予約人数	備考
1 □	大学B2F電動書架(図書)		816.5 73	953744	通常貸出	予約	0	



「Bookweb で詳細を見る」をクリックしたときに表示される紀伊國屋書店のサイト図です。表紙の画像をクリックしても、同じ画面にジャンプします。



ホーム > 和書 > 詳細検索 > 検索結果



論文・レポートの基本—この1冊できちんと書ける！

石黒圭【著】

[著者名をお気に入りに登録する](#)



内容説明

構成の立て方が体系的に学べる第1部、大学で通用する文章術を習得できる第2部で、課題や例文を使いながら、わかりやすく解説。6段階からなる明快な基本構造、オリジナリティを生み出すヒント、ウソのない日本語表現のコツ、論理的な文章展開の方法など、迷える学生のための入門書。

目次

第1部 論文の構成(論文の構成の考え方;問う—目的;調べる—先行研究;選ぶ—資料と方法;確かめる—結果と分析;裏づける—考察;まとめる—結論;校正する—提出前の原稿チェック)

第2部 論文の表現(論文の表現の考え方;正確な言葉選び;正確な表記;論文専用の表現;論文の文体;明かな文;明かな文章展開;書き手の責任)

検索のヒント

- ① キーワードをスペースで区切りましょう。例) レポート 書き方
- ② 漢字をカタカナのヨミにしてみましょう。例) レポート カキカタ
- ③ 検索結果画面の左側メニュー「絞り込み検索」から、絞り込みを行ないましょう。
- ④ 検索結果の並び順でソートの方法を変えてみましょう。
- ⑤ 書影(表紙の画像)をクリックすると、本の内容をチェックすることができます。